

White Board

財団法人 宇宙科学振興会国際研究集会 (海外) 参加費用補助要項

財団法人宇宙科学振興会は、宇宙理学(地上観測を除く)及び宇宙工学(宇宙航空工学を含む)に関する独創的、先駆的な学術研究の助成事業を行ってまいりました。

今回、この事業の一環として海外で開催される国際研究集会で、上記分野の研究発表を行う、若手研究者の海外での費用の一部を補助することに致しました。

1. 援助対象

海外で開催される国際研究集会に出席し、研究発表を行う35才以下(当該年度)の大学・研究所の教職員及び大学院学生で、国際研究集会で論文発表が原則として確定しているもの。但し、論文発表採択が未確定の場合でも申請できますが、論文発表が条件となります。この場合採用確定を待って助成金を支給することとなります。また、他の機関及び過去に本財団より助成を受けた方は応募資格がありません。

2. 援助金額

1採択あたり15万～20万円(参加申込費・渡航費等の費用)

3. 申込受付時期

随時受け付けますが次の締め切り日に間に合うよう提出願います。(選考のための審査委員会は年3～4回開催します)

7月1日以降の出発者については、5月15日

11月1日以降の出発者については、9月15日

3月1日以降の出発者については、1月15日

4. 採択件数 年間10～15件程度

5. 援助対象者及び援助金額の決定

援助申込書について検討の上、理事長が援助対象者と援助金額を決定し、その結果を文書でお知らせします。

6. 援助金は、ご希望の預金口座に振り込みます。

7. 報告書の提出

海外渡航が終了した後、A4判程度の報告書(様式随意)を提出していただきます。なお、援助金を目的外に使用したり、計画を中止した場合には、既にお渡しした金額を返還して頂きます。

申込書送付先：

〒229-8510 神奈川県相模原市由野台3-1-1

文部科学省宇宙科学研究所内 財団法人 宇宙科学振興会

電話：042-751-1126, fax：042-751-2165

* 申請書は上記に申し込んで入手してください。参考として補助申請書記入内容を記します。

・氏名／フリガナ／生年月日

・現住所／〒／電話番号

・所属機関住所／〒／電話番号

1. 補助希望内容

(1) 研究発表をする国際研究集会(海外)の名称(日本名／英文名)

- (2) 主催団体
- (3) 開催地
- (4) 開催時期及び期間
- (5) 補助希望金額
- (6) 研究発表テーマ(論文名)及び内容の要旨(別添様式によりA4判1枚程度で記入)

2. 他機関への申請状況

有り(応募先: 金額:), 無し

3. 添附書類

- ・1の(1)~(4)を証するパンフレット等の写し(1部)
- ・上記研究集会における論文採択等を証する文書の写し(1部)
- ・最低割引料金を精算した航空運賃見積書(旅行代理店が作成し、担当者印のあるもの。)(1部)

4. 所属機関責任者の承諾書

5. 申請者の業績・主な発表論文・著書等所属・職名/氏名/最終学歴/卒業年次/学位/専攻分野論文名等/学会誌又は学会名/発表年月

九州大学大学院理学研究院地球惑星科学部門助教授公募

公募人員:太陽惑星系科学講座所属助教授1名.

専門分野:地球惑星進化学(特に,地球外物質の実験的研究と教育に意欲を持ち,高度な分析機器の操作の指導が出来る方).

着任時期:なるべく早い時期.

提出書類:

- ①履歴書
- ②これまでの研究概要(A4用紙2枚以内)
- ③業績リスト(原著論文,総説,報告書,著書に区分)
- ④主要論文別刷3編
- ⑤研究・教育に対する抱負(A4用紙2枚以内)
- ⑥応募者を熟知し,意見を聞ける方(2名)の氏名・連絡先と応募者との関係.

応募締切:平成13年7月2日.

書類送付先および問合せ先:

〒812-8581

福岡市東区箱崎6-10-1,九州大学理学研究院地

球惑星科学部門助教授選考委員会委員長:村江達士.

E-mail:murae@geo.kyushu-u.ac.jp

TEL:092-642-2660

提出書類は別刷以外全てA4用紙を使用し,封筒に「応募書類在中」と朱書,簡易書留で郵送のこと.

国立天文台野辺山特別公開のおしらせ

国立天文台野辺山では,下記の要領で,特別公開を開催いたします.

・日時2001年8月25日(土)午前9時から午後4時まで

・場所国立天文台野辺山

・展示・見学

通常の見学コースのほか,45メートル電波望遠鏡・ミリ波干渉計・電波ヘリオグラフの各観測室などを見学できます.また最新の観測結果を展示します.

・講演会

「宇宙は爆発・ジェットだらけ!---太陽フレアからガンマ線バーストまで」

柴田一成(京都大学)11:00-12:00

「暗黒の宇宙を電波でえがくアンデスの巨大電波望遠鏡ALMA(アルマ)」

長谷川哲夫(国立天文台)14:00-15:00

・ご注意

入場無料・雨天決行.スリッパを各自ご持参ください.

問い合わせ先:

国立天文台野辺山

〒384-1305 長野県南佐久郡南牧村野辺山

TEL:0267-98-4300(代表)

<http://www.nro.nao.ac.jp/~openday/>

惑星探査に関するインタビュー企画のお知らせ (及びインタビュー記事作成を行っていただける学生募集のお知らせ)

将来計画委員会・惑星探査検討グループでは、日本の惑星探査計画に関してわかりやすい紹介を初学者を対象として行う計画を検討しています。その一環として、学生による探査計画へのインタビュー企画をお知らせいたします。

インタビューは博士課程の学生・PDからなる編集委員と、実際にインタビュー内容を考え、担当者に話しをうかがいに行く修士・学部の学生とで作り上げていく予定です。学生の視点から見た様々な惑星探査計画に関するインタビュー記事を目指しております。遊星人2001年9月25日号を皮切りに、計4回の連載を予定していますので御期待ください。

また、既に第一回目の内容・インタビュー担当の学生の方は決定しておりますが、二回目以降に関して、担当していただける学生の方を広く募集しております。御希望される方は以下まで御連絡ください。探査計画の担当者の方々と直接会って様々な内容に関してお話が聞ける良い機会であると思います。また、交通費等に関しましては一部補助があります。

探査計画に参加されているみなさまには、今後インタビューのお願いをすることがあるかも知れませんが、御協力いただけるようよろしく御願いたします。

連絡先:

インタビュー記事編集員 秋山演亮(東大佐々木研博士課程)

akiyama@space.eps.s.u-tokyo.ac.jp